



着火 レンタン



警告

必ず換気をして下さい



(部屋の換気)

●レンタンが燃焼する際には一酸化炭素が発生しますので室内で使用される場合は、一時間に2～3回は、**部屋の窓を全開にして必ず換気をして下さい。**

●コタツで使用される場合は、**コタツの中には絶対にもぐり込まないで下さい。**

●就寝時は使用中のコンロを **室外の安全な場所に出して下さい。**



(就寝時は室外へ)



(コタツにもぐり込まない)

●締め切った車内やテント等、換気の悪い場所では**絶対に使用しないで下さい。**

●工事現場の暖房やコンクリートの凍結防止などに使用される場合は **現場に立ち入る前に必ず換気をして下さい。**



(換気の悪いところ)

※特に貯水槽、防火水槽等、空気が滞留する現場では換気を確認して下さい。

使用を誤ると一酸化炭素中毒を起こします。



(立ち入る前に必ず換気)

●使用方法●

- 上つけコンロをかならず使用してください。
- 別売りの上つけ火起し器で、マークのある方に、ガスで着火してください。
- 着火した方を上にしてコンロに入れてください。
- 必ず上つけカバーを突起がでている方を上にしてのせ、通風口全開にしてください。

使用方法

(ガスで着火)

- ① マークを上 ② ガスで1～2分着火 ③ コンロを20～30度傾ける



ガスコンロで着火する時はその場を離れないで下さい。おこし過ぎますと、火災や、コンロの故障の原因になります。

●使用上の注意●

- 一酸化炭素中毒防止のために
 - 着火直後は一酸化炭素の発生量が多いので、室外の通風のよい所に一時間ぐらいいおいてから、通風口を調節して使用してください。
- やけど防止のために
 - 火のついた上つけコンロを移動させる時は、やけどをしないように木綿や革などの厚手の手袋をお使いください。(化繊やゴムの手袋は危険ですから、使用しないでください)
- 火災防止のために
 - 火のついた上つけコンロの上や周囲に燃えやすいもの(カーテン・障子・スプレー・洗濯もの等)を置かないでください。
 - 火のついたコンロを、棚の下など物が落ちやすい場所に置かないでください。
 - 使用後や灰を捨てる時は、必ず消えていることを確認してください。
- お子様に注意
 - 火のついたコンロにつまづいたり、いたずらや火遊びをしないようご注意ください。
 - 残り火や灰は、完全に消火していることを確認し、各市町村の条例に従い処分して下さい。

●保管上の注意●

- レンタンが湿気をおびると、火つきが悪くなりますので、雨などのあたる軒下やベランダを避け、火の気がない乾燥した場所で保管してください。

株式会社ミツウロコヴェッセル

東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン

お客様相談室 0800-100-3265